



林 英輔先生とDSM研究会

山井 成良（東京農工大学）

林英輔先生メモリアル

2014年10月17日 学士会館（公開用に一部修正）



自己紹介

■ 職歴

- 平成6年4月 大阪大学情報処理教育センター 助手
 - 平成7年4月 大阪大学大型計算機センター 講師
 - 平成9年11月 岡山大学総合情報処理センター 助教授
 - 平成18年4月 岡山大学総合情報基盤センター 教授
- ⇒ 情報系センターで20年勤務
- 平成26年4月 東京農工大学大学院工学研究院 教授

■ 学会での活動

- 情報処理学会インターネットと運用技術(IOT)研究会主査
 - DSM研究会運営委員, IOT研究会運営委員・幹事
 - 論文誌ジャーナル編集委員等を歴任

※ 業績が認められるようになったのも林先生のおかげ



DSM研究会

- 情報処理学会の研究会
 - 1996年発足(分散システム運用技術研究会)
 - DSM: Distributed System Management
 - 分散システム/インターネット運用技術研究会に改称(1999)
 - 統合により, 現在は「インターネットと運用技術(IOT)研究会」
 - 高品質インターネット(QAI)研究会と統合(2008)
 - システム評価(EVA)研究会と統合(2013)



発足の背景

- 「センター業務は研究と認められない」
 - 情報系センターでの主な業務
 - 計算機システムや学内ネットワークの管理・運用
 - 研究分野が化学・物理学の教員も多数存在
- センター教員は「飼い殺し」
 - センター業務が研究業績につながらない
 - 学位を持っていない教員も多い
 - 多くのセンターで最上位ポストは「助教授」



最近の実例

- IOTS2012[†], DICOMO2013[‡]の優秀論文賞受賞論文を投稿
- COMPSAC2013(ソフトウェアと応用に関する国際会議)
 - #1: Originality: Reject Quality: Reject
 - #2: Originality: Weak Accept Quality: Reject
 - #3: Originality: Weak Reject Quality: Reject
 - #4: Originality: Reject Quality: Reject
- ADMNET2013(IOTが共催するCOMPSACの併設ワークショップ)
 - #1: Originality: Accept Quality: Neutral
 - #2: Originality: Weak Accept Quality: Weak Accept
 - #3: Originality: Weak Accept Quality: Weak Accept
- 情報処理学会英文論文誌(JIP) COMPSAC2013特集号
 - 条件付採録 → 採録(2014/7発行)

†: インターネットと運用技術シンポジウム2012

‡: マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム2013



発足の背景(続き)

- 「センター業務は新しい研究分野」
 - 運用上のいろいろな工夫は研究業績
 - 特に専門が異なる教員にとっては有用
- 分散システム運用技術(DSM)研究グループの発足(1994年)
 - 2年間は研究グループとして活動して十分な登録者数を得られるようにする
 - 林英輔先生が発足にご尽力(実質的な代表者)
 - 主査は石田晴久先生@東大



DSM研究会の活動状況(1)

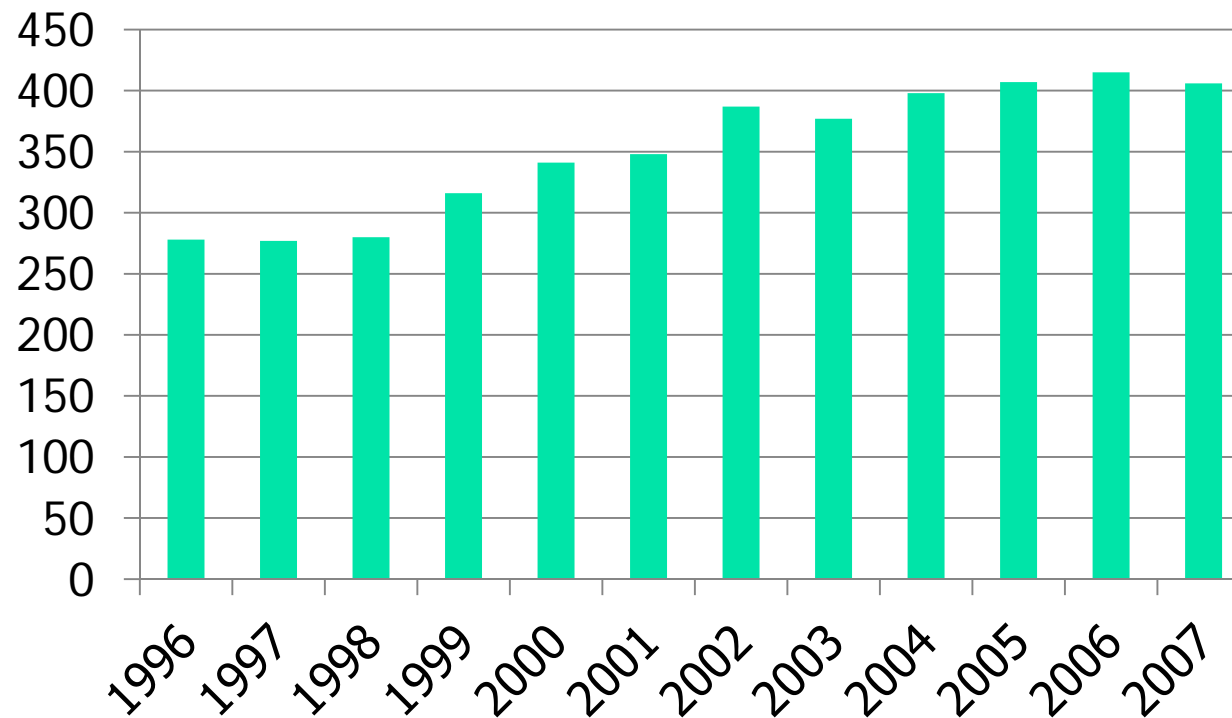
■ キーワード

- LAN/WAN
- 経路制御
- ネットワークの設計・運用・管理技術
- 負荷分散
- 障害管理
- トラフィック解析・管理
- ネットワーク性能評価と性能改善
- ネットワークセキュリティ
- 危機管理
- 利用者認証
- 通信品質
- 分散システム構築運用技術
- 次世代通信技術
- IPv6
- ユビキタス
- 教育支援
- その他

※赤字はセンター業務に深く関係

DSM研究会の活動状況(2)

- 研究会登録会員数(ほぼ順調に増加)





DSM研究会の活動状況(3)

- 主査(研究会代表者)

- 初代(1996): 石田晴久先生(東大)
 - 実質的には林英輔先生が幹事として運営
- 2代(1997-1998): 林英輔先生
- 3代(1999-2002): 箱崎勝也先生(電通大)
- 4代(2003-2004): 松浦敏雄先生(大阪市大)
- 5代(2005-2007): 藤村直美先生(九大)



DSM研究会の活動状況(3)

- 情報処理学会論文誌DSM特集
 - 2000年12月発行(13/38=34%)
 - 2001年12月発行(17/32=53%) ※林英輔委員長
 - 2002年11月発行(11/23=48%) ※林英輔委員長
 - 2004年1月発行(9/20=45%)
 - 2005年4月発行(14/33=42%)
 - 2006年4月発行(17/37=46%)
 - 2007年4月発行(15/41=37%)
 - 2008年3月発行(22/52=42%)
- ※ DSM特集により学位取得した研究者が多数存在
- ※ 林先生が優秀な論文を多く投稿してもらえるようにご尽力



おわりに

- 林英輔先生とDSM研究会
 - 発足前後の5年間で実質的な代表者としてご尽力
 - ⇒システムの構築・運用・管理での創意工夫を研究として認める礎を構築
 - ⇒情報系センター教員のキャリアパスを開拓
 - 「飼い殺し」からの脱却
 - センター教員が活躍できる場を創造して頂いたことに心より感謝いたしますとともにご冥福を心よりお祈りいたします